

発行：船木地区コミュニティ推進協議会
事務局：船木ふれあいセンター
☎：67-1183 FAX：67-1404
Eメール：funakic1@city.ube.yamaguchi.jp
船木地区ホームページ
「うべふなき掲示板」
URL ↓ QRコード →
<https://funakifureai3.wixsite.com/funaki-fureai>

ふなきだより

7 月 号

船木地区世帯数・人口
(令和 7 年 5 月末現在)

世帯数	1,607	世帯(+2)
人 口	3,183	人 (-3)
男	1,574	人 (+1)
女	1,609	人 (-4)

船木地区の紹介動画ができました！ぜひ観て下さい！

地域紹介DVD『歴史のまち 学びのまち そして がんばっている船木』が、県補助金(やまぐち元気生活圏活力創出事業)で完成しました。

江戸時代には代官所が置かれ、大名が宿泊する本陣を備えた宿場町、明治時代は旧厚狭郡の政治・経済・文化の中心として大いに栄えた面影を残す街筋を「歴史のまち」と紹介、毛利勅子様を初代校長に迎え、東京・京都に次いで日本で3番目に女児小学校が創設されたことを「学びのまち」で紹介し、地域の伝統行事、ふれあい運動会、オータムフェスタ等を「がんばっている船木」で紹介しています。

貸出用DVDは、ふれあいセンターにありますのでご連絡下さい。

うべふなき掲示板でも視聴できます。



【船木地区コミュニティ推進協議会】



6/12 (木) エクセリオジャパン株式会社様から 防災用備品の贈呈を受けました



旧船木ゴルフ場跡に建設中の太陽光発電所が5月中旬より商用発電(約12ha・9.99MWac/約14,370MWdc・3,968世帯相当)を開始しています。

同社日本支社長リス・ペレサグア氏をお迎えし贈呈式を設定し、挙行了しました。同社からは2023年の防災備品倉庫と避難所用テントに続き、今回はワンタッチテント(大中8式/着替え用12式)とポータブル電源(1基)を寄贈していただきました。

自主防災会で管理し大切に使用させていただきます。

【船木地区コミュニティ推進協議会・船木自主防災会】

7 月 度 ふ れ あ い セ ン タ ー 関 連 行 事



日 曜	行 事	時 間	場 所
1～31	ボランティア・チャレンジ 2025		地 区 内
5 土	福祉交流会	10:00～	講 堂
7 月	楠地区民生児童委員協議会	9:00～	講 堂
7 月	ふれあい運動推進委員会	18:30～	会 議 室
9 水	老人クラブ寿会連合会	13:00～	会 議 室
9 水	見守りネットワークふなき 見守り活動	14:25～	通学路各所
9 水	社会教育推進委員会	18:30～	会 議 室
10 木	子ども会育成連絡協議会	19:00～	会 議 室
13 日	自主防災会研修会	9:00～	講 堂
16 水	ふなきだより編集委員会	15:00～	視聴覚室
22 火	活性化懇話会	18:00～	視聴覚室
24 木	まちづくりサークル	13:30～	会 議 室
26 土	学び舎ふなき(工作教室)	9:30～	講 堂
28 月	自治会連合会理事会	18:30～	視聴覚室
31 木	体育振興会運動会実行委員会(1)	18:30～	会 議 室
未定	地域支え合い会議	18:00～	会 議 室
未定	子育て支援プロジェクト	18:30～	会 議 室

※ 現在予約されている関連行事の掲載となっております。

※ 実際の開催については、主催者・事務局等へのご確認をお願いします。

※ 日時等は都合により変更になる場合があります。

ボランティア・チャレンジ 2025

※詳しくは、
班回覧のチラシを
ご覧ください

7 月中に実施をお願いします。

草刈り、集会所・公園の掃除、ボランティア清掃活動等

問い合わせ：船木ふれあいセンター【主催：宇部市環境衛生連合会 船木支部】

サマーフェスティバル

8月2日(土)17:30～20:30

会場：楠こもれびの郷

【くすのき商工会青年部(主催)・楠地区社会福祉協議会他(共催)】

★ステージ
★盆踊り
★子供プレイコーナー
★キッチンカー&屋台

敬老の日「激励と慰安の会」のご案内

今年も、77歳(昭和23年4月2日～24年4月1日生)以上の方を対象に敬老の日「激励と慰安の会」を下記の通り開催致します。

チラシを全戸配布し、参加希望者の方を募りますので、チラシの申し込み書に必要事項を記載の上、**8月1日までに**、各自治会の福祉委員様にお申込みください。また、記念品の配布も予定しておりますので、**配布希望の方は福祉委員様にご連絡ください。**

○開催日時 令和7年9月15日(祝・月)

午前10時00分～12時00分

○開催場所 楠総合センター ルネッサンスホール

【主催 楠地区社会福祉協議会 TEL:67-0056】

7/13 (日)

防災研修会を開催します！

午前9時～
班回覧参照。

南海トラフ地震発生がかなり確からしい情報として報道されています。直接の津波被害よりも確実に受けそうな震度5への対応が必要です。家屋倒壊が多ければ避難所開設になります。

この初動を、避難者ではなく避難所を運営する側として考えます。

★うべポイント対象事業(200P)です。

【船木自主防災会】

トビックス

～ 茅の輪くぐり ～ 夏越の祓 (7/31～8/3)

1年の前半の穢れを清め、厄災を払うための神事で、年の後半も無事に過ごせるよう祈願します。岡崎八幡宮では毎年旧暦で執行されています。



6/1 (日) 有帆川河川道清掃活動お疲れさまでした！

107名にご参加いただき、有帆川河川道の清掃が行われました。これから夏に向けて草木が勢いを増す時期、お陰様でみんなが安心して通れるようになりました。毎年、6月と9月に行われているこの活動は、1956年から始まって今年で69年目です。今年もご協力ありがとうございました。【宇部市環境衛生連合会船木支部】



6/14 (土)

救急救命講習会を開催しました！

宇部西消防署楠出張所にて、胸骨圧迫 & AED 使用法や日常的な救急処置等について、実技だけではなく活発な意見交換が行なわれ、和やかな雰囲気の中で貴重な情報を得ることができました。

お忙しい中、消防署の講師2名の方には丁寧なご指導をいただきました。参加者18名(女性7名)。【船木自主防災会】

6/8 (日) ふれあい球技大会 お疲れ様でした！！



宇部市障害者ケア協議会スポーツ部会上級障害者スポーツ指導員の太田直美さんを講師にお迎えしました。



【船木地区体育振興会】

アグリマジック ラボ K 船木小1・2年生と芋植え！5年生は田植え体験！

アグリマジック ラボ K(田村敦義代表)の教えのもと、消防署楠出張所周辺の圃場で、5月29日(木)に船木小学校1・2年生(教職員含む35名)が芋の苗を植えました。子どもたちは用意された竹の棒を使って穴を作り、差し込むように苗を植えていました。チームオレンジ活動も同時に開催され、子どもたちと一緒に活動しました。

6月18日(水)には5年生(教職員含む25名)が田植えを体験しました。「にじのきらめき」という夏の暑さに強い品種を植えました。

10月の収穫が楽しみです。



※チームオレンジ活動とは、認知症になっても安心して暮らせる地域づくり活動で包括支援センターが主導で推進しています。【地域支え合い会議】

5/31 (土)

「学び舎ふなき」開催！

イモ植え&野菜収穫&カレーづくり！12人参加



地域の邑岡素明さんを講師に迎え、船木の農園で畑作業や、瑞松庵でのカレーづくりに挑戦しました。サツマイモの苗を植え、タマネギやスナップエンドウを収穫。いろんな野菜がたくさん入ったカレーを、青空の下で美味しくいただきました。

いろんなボールで遊んでみよう！12人参加



地域の今本満代さんを講師に迎え、船木小学校体育館でいろんなボール遊びをしました。大玉運び、フリースロー対決、サッカー、バスケ、転がしドッジボール等を、参加者全員が汗をかいて楽しみました。

【船木地区子ども委員会(学び舎ふなき)】

6/21 (土)

広報「くすのき」より 「わが町の山城史話」 (故島本英弼氏)

荒滝山城跡 (その5)

内藤隆春には男子がなかったので、^{ししど}矢戸元秀(隆元の姉の子)の次男^{もともり}元盛を婿養子に迎えて、その知行3600石余をゆずり、佐波郡の徳地へ隠居し、2630石を宛がわれました。

元和元年(1615)大坂夏ノ陣のとき、この元盛は毛利輝元から密命で「^{どうか}佐野道可」と変名して大坂城に入り、落城後とらえられて絶命します。

荒滝山城遺構には構築年代に差がみられ、主郭から西側^{おね}尾根部は毛利氏領知後築かれたと推定されており、その県下最大の荒滝山城の規模が分かります。

内藤隆春が荒滝山城に拠った歳月は、創建時が明確でないで、その期間は不明です。それは「戦国の世」といわれ、激動の時代でした。

荒滝山城の石積み技法をみても、^{あのを}穴太積みというのではなく、自然石で石組みして崩壊を防ぐ手だてをし、すき間はクリ石という小石で埋めた古流のもので、室町後期築城の遺構をよくみせています。

城郭の構築は、年代を追って、小規模のものから徐々に拡張されたものと推定されています。

隆春が荒滝山城を離れて徳地へおもむく時の感懐は、次の伊達政宗の詩情に近かったかと思われます。

^{ばじょう}馬上に少年過ぎ ^よ世は平にして ^{はくはつ}白髪多し ^{さんく}残軀は天の赦す所 ^い楽しまずして如何せん
(「少年」は青壮年期のこと)

^て草深い山道を ^{へんてんすうき}大勢の手の者にまもられて、^{まなこ}変転数奇の過去をふりかえり馬を進めたのでしょうか。

^{たずな}手綱をとって、^{びか}鋭い眼を前方に、しっかりと見すえた馬上姿、ゆたかな隆春がゆく。鼻下のひげを微風になぶらせ、たくましい五十男の戦国武将の面影がうかんできます。

晩年の彼は、^{ほったい}法体となり、その号を^{しゅうちく}「周竹」と名のりました。

次号ふなきだより8月号に続く。

